

第10回アジア海上保安機関長官級会合が横浜で開催

9月30日（火）、アジア各国の海上保安機関の長官級が参加する「第10回アジア海上保安機関長官級会合」が横浜で開催されました。

本会合には、西村国土交通副大臣及び日本財団笹川会長が来賓として参加されました。西村副大臣からは「アジア各国の人々の海上保安に寄せる期待に応えるために、どうか活発な議論を行っていただき、海上保安の国際協力がより一層発展するようにご尽力賜りますようお願い申し上げます。」とご挨拶いただきました。

本会合における成果として、「テーブルからフィールドへ」の合言葉の下行ってきた活動の有効性を確認し、今後とも各国が連携・協力して活動していくことに合意しました。

本会合の日本開催は、2004年の第1回以来、2回目となりましたが、今回初めて、会合メンバーによる安倍内閣総理大臣への表敬訪問も行われました。



西村国土交通副大臣による来賓挨拶



会合風景

【参考】

アジア海上保安機関長官級会合（HACGAM）について

アジアの18カ国1地域の海上保安機関の長官級が一堂に会し、海上保安行政に関する地域的な連携強化を図ることを目的として、我が国の提唱により、日本財団及び日本海難防止協会の協力を得て、平成16年からほぼ毎年開催しているものです。

※HACGAM : Heads of Asian Coast Guard Agencies Meeting

第10回の参加状況

○長官級の参加国
(13カ国1地域)

バングラデシュ、ブルネイ、インドネシア、インド、香港
日本、マレーシア、ミャンマー、モルジブ、パキスタン、
フィリピン、シンガポール、スリランカ、ベトナム

○代理出席の国 (3カ国)

中国、韓国、タイ

○欠席の国 (2カ国)

カンボジア、ラオス